

ワールドワイド新食研 キックオフミーティング議事録メモ

日時：2019年8月8日（木）20時-21時半（懇親会 21時半-22時半）

出席：五島先生、登世子先生、坂田さん、辻さん、川脇さん、木村

プレゼンター：マジャラットさん

○ミャンマー出身のマジャラットさん初参加。

○マジャラットさん自己紹介

・2001年に留学生として来日、大学卒業後高田馬場での飲食店・雑貨店経営。その後介護の世界に入り有料老人ホーム、デイサービス、訪問介護を経験。将来は自国での介護事業経営を視野に入れて日々学んでいる。

Q：ミャンマー人コミュニティが高田馬場にあるのはなぜ？

A：20年以上前にはミャンマー料理の食材を購入できる店が高田馬場にしかなかったのでミャンマー出身者が集まってきた。

Q：ミャンマーには公的な介護制度はある？

A：医療も介護も公的な制度はない。ミャンマーでは家族がケアをするのが一般的だが、ここ数年の経済発展により大都市が増加し生活スタイルに変化あり。

Q：130を超える民族がいるが食生活に違いがある？

A：民族により食事だけでなく言葉も宗教も文化も違う。各々の価値観を守りつつ共存している。

Q：ミャンマー料理とはどんな料理？

A：インドカレー似たものが一般的。ただし民族により食事内容も違い、ベトナム料理のフォーのようなものを食べる文化もある。

などなど。。

・マジャさんはバイタリティーあふれる方で mtg、懇親会とも話が尽きず。ワールドワイド新食研としての方向性についての意見交換にまでたどり着かず終了。

人生の約半分を日本で過ごしているため日本文化に馴染んでおり、実はミャンマーのことをあまり知らないのでは、という疑惑も。

多様性のある文化に触れるのは刺激的で勉強になった。とても楽しかったので次回もマジャさんに入ってもらおう。

次回予定：2019年9月12日（木）20時@五島先生オフィス

以上